

もっと学びたい人へ (2)



第2課では、動詞シルシ形スル・シタ式について学びました。

▽ [動詞シルシ形] スル・シタ式

主語の シルシ	-	時間の シルシ	-	D	+	[動詞本体]	(- E)
------------	---	------------	---	---	---	--------	-------

その中で、現在、過去、未来、完了の4つの時間のシルシについて見ましたね。

▽ 時間のシルシ

[現在]	- na -
[過去]	- li -
[未来]	- ta -
[完了]	- me -

ここでは完了の時間のシルシ '-me-' について、もう少し詳しく見ていきましょう。



それからもう一つ、単純現在の時間のシルシ '-a-' についても一緒に見ておきましょう。



◆ 完了の時間のシルシ '-me-'

完了の時間のシルシ '-me-' は、動作が完了し、その時点で完了した状態が続いている場合に使われるシルシです。動詞本体 '+ kaa' (座る) と、'+ vaa' (着る) を例に、現在、過去の時間のシルシと比較して確認しておきましょう。

((例1))

Anakaa. <彼は座る。>
※ 「座りつつある」状態 / 「いつも座る」という習慣

Alikaa. <彼は座った。>
※ 「座った」という事実

Amekaa. <彼は座った。>
※ 「座る」という動作が完了し、その時点で「座っている」状態

((例 2))

Anavaa. 〈彼は着る。〉
 ※「着つつある」状態 / 「いつも着る」という習慣

Alivaa. 〈彼は着た。〉
 ※「着た」という事実

Amevaa. 〈彼は着た。〉
 ※「着る」という動作が完了し、その時点で「着ている」状態

なお、3 人称単数の主語のシルシ‘a-’と完了の時間のシルシ‘-me-’が繋がった‘ame-’は、一体化して、‘ka-’となる場合もあります。

((例 3)) **Kakaa.** = **Amekaa.**

((例 4)) **Kavaa.** = **Amevaa.**

◆ 単純現在の時間のシルシ‘-a-’

時間のシルシ‘-a-’は、「～する」という単純現在の表現に用いられます。現在のシルシ‘-na-’を「～している」という進行の表現に用いて、この‘-a-’と区別する場合があります。

また、この‘-a-’は、時間に捉われない事実を表わす際に用いられることもあります。新聞の見出しなどがそうです。

((例)) ‘Miriam Makeba **afariki dunia**’

〈ミリアム・マケバ逝く〉

この時間のシルシ‘-a-’は、母音であるため、主語のシルシと縮合してしまうことが多々あります。上の例もそうですね。‘afariki’の‘a-’は、主語のシルシ 3 人称単数の‘a-’と、単純現在の時間のシルシ‘-a-’がくっついたものです。

▽ 主語のシルシ + 単純現在のシルシ

na- < **ni- a-**
 (主語のシルシ 1 人称単数 + 単純現在のシルシ)

twa- < **tu- a-**
 (主語のシルシ 1 人称複数 + 単純現在のシルシ)

wa- < **u- a-**
 (主語のシルシ 2 人称単数 + 単純現在のシルシ)

mwa- < **m(w)- a-**
 (主語のシルシ 2 人称複数 + 単純現在のシルシ)

a- < **a- a-**
 (主語のシルシ 3 人称単数 + 単純現在のシルシ)

wa- < **wa- a-**
 (主語のシルシ 3 人称複数 + 単純現在のシルシ)

第 2 課のスキットで、このようなセリフが登場しましたね。

S :	Naitwa Saida.	〈私はサイダといひます。〉
-----	---------------	---------------

この動詞シルシ形‘Naitwa’の始めの‘na-’は、このスキットでの場合、主語のシルシ 1 人称単数の‘ni-’と、時間のシルシ現在の‘-na-’がくっついたものです。

naitwa

= [na]+[itwa] < [n'na]+[itwa] < [ni-na]+[itwa]

ただし、この‘Naitwa’の‘na-’が、主語のシルシ 1 人称単数の‘ni-’と、単純現在の時間のシルシ‘-a-’のくっついたものである場合もあります。

naitwa

= [na]+[itwa] < [n'a]+[itwa] < [ni-a]+[itwa]

どちらであるかは、文脈で判断する必要があります。

... ❀

